

研究から分析、実践へステップアップ

夏休み自由研究展

9月21日～23日、田川市民会館で「夏休み自由研究展」が開かれ、約400人が観覧に訪れました。

この展示会は市教育研究所が主催しており、市内の小中学校の児童・生徒が夏休み期間に取り組んだ研究や工作などの作品約300点が展示されました。理科・社会科・家庭科・国語科など5分野の多彩な作品がズラリと並ぶ会場には、子どもや孫の作品を楽しむ保護者のほか、入学を控えた市内外の親子が訪れました。

教育研究所長の数電英光所長は「調べるだけでなく、結果の分析や実践を通して考察を深める研究が増えてきました。子どもたちの今後に期待したい」と話しました。



▲「面白い」「これはすごいね」と作品に感心する親子

地域おこし協力隊



自転車でGO

ウェブマガジン「田川ライフ」で魅力を発信中！スマートフォン、携帯電話から今すぐアクセス！

砂子間QR



炭坑節まつりの熱を全国へ

11月3日(土)、4日(日)は、待ちに待った第13回TAGAWAコールマイン・フェスティバル「炭坑節まつり」の開催日。本市を代表するお祭りを、きっと多くの人々が楽しみにしていることでしょう。もちろん、私、砂子間もその1人です。炭坑節の総踊りはもちろんですが、会場全体が幻想的な雰囲気にも包まれる「キャンドルナイト」もオススメです。ふれあい相撲や歌・ダンスのショーなどさまざまなイベントが祭りを盛り上げます。ぜひ会場に遊びに来てください。きっと素敵な思い出ができますよ。

実は、9月に東京都荒川区の日暮里駅前でも「炭坑節まつり」が開催されました。今回で7回目の開催で、田川市は毎年参加しています。私と大平隊員はスタッフとして参加しましたが、東京も田川に負けないくらい大盛況。駅前広場にたくさんの人が集まり、総踊りの輪が広がりました。田川市は炭坑節の発祥の地です。これからも「炭坑節まつり」を通じて、日本中に炭坑節の素晴らしさが広まっていくことを願っています。



シリーズ 田川市立病院だより

泌尿器科の紹介

当科では、尿路性器系(腎、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣など)の疾患(腫瘍、結石、感染症など)の診療を常勤医師2人で行っています。

悪性腫瘍では、膀胱癌の頻度が最も高く、早期癌であれば内視鏡的切除によって治療できます。局所浸潤癌に対しては、膀胱全摘除術と尿路変更術が最善の治療法です。腎癌や腎盂尿管癌に対する治療は可能な限り低侵襲である腹腔鏡下手術を行うようにしています。

前立腺癌は、日本の男性の中で最も増加している悪性腫瘍で、血液検査(腫瘍マーカーであるPSA)が早期発見に非常に有用です。癌の進行度や年齢などを考慮し、手術(開放手術、腹腔鏡下手術)、放射線療法(小線源療法、外照射療法)、ホルモン療法、PSA監視療法などの治療法を選択します。

尿管結石の生涯罹患率は約10人に1人と増加しています。自然排石が期待できない症例には、体外衝撃波結石破碎術(ESWL)や経尿道的手術を中心に治療を行っています。当院ではESWLの日帰り手術ができます。

泌尿器科領域の良性疾患の中で最も多い前立腺肥大症に対しては、まず薬物療法を行い、治療効果が不十分である場合には経尿道的前立腺切除術(TURP)などの手術をお勧めしています。

泌尿器科の病気で困っていることがあれば、悩まず気軽に相談に来てください。



▲体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)

●くわしい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック